

1	1868	24	廢藩置県	47	20
2	1869	25	前島密	48	山県有朋
3	1871	26	イギリス	49	2
4	1873	27	陸蒸氣	50	板垣退助
5	1874	28	文明開化	51	民選議院設立建白書
6	1877	29	富岡製糸場	52	立志社
7	1886	30	フランス	53	榎本武揚
8	1889	31	アメリカ	54	2.5
9	1890	32	富国強兵	55	西南戦争
10	大政奉還	33	殖産興業	56	西郷隆盛
11	戊辰戦争	34	学制	57	征韓論
12	京都	35	6	58	自由民権運動
13	函館	36	90	59	秩父事件
14	五稜郭	37	津田梅子	60	立憲改進党
15	大名	38	福沢諭吉	61	伊藤博文
16	五カ条の(ご)誓文	39	大隈重信	62	教育勅語
17	五榜の掲示※	40	東京大学	63	主権
18	版	41	モース	64	臣民
19	籍	42	クラーク	65	ドイツ
20	華族	43	お雇い外国人	66	イ
21	平民	44	太陽曆	67	貴族院
22	横浜	45	地券	68	工
23	屯田兵	46	3	69	北海道・沖縄

記述1 ○切手をはってポストに入れれば、全国どこへでも届く。○身分に関係なくだれでも利用できる。

○全国一律の料金で利用できる。○個人ではなく国が経営している。○都市だけでなく、全国で利用できる。

記述2 教育レベルの高い士族の娘たちを女子労働者として育成し、全国に技術を広める役割を担わせた。

記述3 1日に14時間以上の重労働で、そまつな食事だった。

記述4 軍艦を買ひ軍備を拡大していった。

記述5 寺子屋ではそれぞれの子供たちの理解に合わせて教え、学校では全員に同じ内容で教えている。

記述6 君主(天皇)の力が強い憲法をつくるため。

記述7 天皇が憲法を国民にあたえるという形で発布されている。

記述8 だれがだれに投票したかが分かるようになっていた。